

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年1月8日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	認定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・熊本	代表者名	理事長 潮谷 義子
担当者部署	事務局	連絡先電話番号	096-288-2781
担当者役職		担当者氏名	
住所	860-0001 熊本県熊本市中央区千葉城町		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	熊本市教育委員会事務局 学校教育部	連絡先部署	総合支援課
担当者氏名		連絡先電話番号	096-328-2720
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岸本 晃
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	フェイスブックの書き方や使い方など具体的な実践方法を実際の画像を見ながらの指導でとても理解しやすく、誰もが気軽に発信してみようという気持ちになりました。
アドバイザーへの要望事項	撮影する対象によって注意すべきことがある場合などの具体例を指導して欲しい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2019年9月23日	13時30分	15時30分		120
3-2. 派遣場所	会場名	慈愛園パウラスホーム		最寄駅	八丁馬場
	所在地	熊本県熊本市中央区神水1-14-1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	一般・知的障がい者	14 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	知的障がいのある方でも、SNSに興味を持っている方たちはとても好奇心が強く、どんどん踏み入って利用しがちになる為、ここまでは大丈夫という境界線を示してやるが必要だと思われました。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	当団体ではスポーツを通して人とのコミュニケーション能力を高める活動も担っている為、実際の競技中を動画撮影して発信できれば、もっとたくさんの方に理解して貰える活動になると思われま。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	動画撮影のポイントや、景色を取り入れた人物の撮影の仕方など撮影のコツのようなものを指導いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	SNSは危ないことが多いと敬遠していましたが、実際には楽しいコミュニケーションツールとしての役割が大きいことが具体的にわかり、より身近に使えるようになったと思います。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	知的障がいがある方にとって、どこまでが許容範囲なのかの線引きがまだ少し難しいと思われま。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

